

幼保連携型認定こども園 学校法人恵光学園 ポケット幼稚園
令和 6 年度 自己評価及び施設関係者評価委員会報告

○園の教育目標

- ・思いやる子に育てる。
- ・能く考える子に育てる。
- ・能く行動する子に育てる。
- ・素直な子に育てる。

① 教育課程・指導について

- ・季節やその時期の環境・伝統的行事に配慮しながら保育を行う。

《実際に見る・聴く・触る等の体験を大切に。季節を感じたものを壁面製作等の製作物で表現した。端午の節句（こいのぼり製作）・七夕・仏教的行事を通して心の涵養に努めた。また、それぞれの行事の歌もまた成果をあげることとなった。・赤城山に春夏秋冬の4回園外保育実施》

- ・食育については、野菜等の栽培に力を入れた。

《栽培植物：サツマイモ・稲・キュウリ・ミニトマト・インゲン・サヤエンドウ 栽培植物は、生または調理して園児が食した。園庭で栽培された野菜ということからか、食べられなかった野菜を食べられるようになった事例が散見された。身近に野菜の成長を観察できることが子ども達の中に培われていることを実感した。これからも、野菜の栽培は子ども達の興味・関心持つ機会に富みさらなる試みを続けていくことが必要。》

- ・園と園児とその保護者の信頼関係構築に心掛ける。

《連絡帳やおたよりあるいは送迎時に保護者との信頼関係を築くことを目指しているが十分とはいかない。限られた時間でどのように成果を出すかが課題》

- ・月毎に目標を定め、その時期ならではの留意点を明確にして保育を行うよう心がける。

《月案・週案は担任が作成する。学年ごとの連携を十分に取れない状況なのでさらに改善していくことが必要。》

- ・年長児には小学校への接続を考慮する。

《今年度は、原小学校の学校公開日が無かったので卒園児の進学先の小学校巡りをした。》

② 保健管理について

- ・看護師（常勤1名、パート・6時間×週4日）を配置して大いに役立っている。

- ・幼児に対する日常の健康観察

登園した際に視診を行う。

具合の悪そうな場合は検温及び、注意深く様子を観察し必要に応じて保護者に連絡をとるように心がけている。

2歳児は午前のおやつと昼寝後に検温。0・1歳児は登園時と昼食後・昼寝後。

毎日、登園時に健康観察表（朝の体温と健康状態等記入）を必ず提出してもらう。

- ・環境検査の実施（採光・水道水・換気等を薬剤師に依頼）

- ・感染症対策（机・椅子・玩具・戸等の除菌）玩具除菌には、専用器具を購入した。
- ・手指消毒液と除菌用薬剤・使い捨てビニール手袋・嘔吐物処理キット・子ども用マスク等常備。
- ・6月に職員健康診断実施。
- ・就園前健診、年2回の園児健康診断、年1回の歯科検診を実施。

③ 安全管理について

- ・園庭遊具の安全点検並びに修繕等 《毎月視認と触診で実施》
- ・防犯カメラ・110番通報装置の点検整備 《業者が年2回実施・直近では12月実施》
- ・毎月、火災総合訓練（避難・通報・消火）と年2回の地震避難訓練実施
- ・安全マニュアルの作成をする。

④ 特別支援教育について

学年を中心に支援を要する子どもへの対応について協議をし、園全体で協力体制を築くことで、子どもの成長発達の援助を行う。

特に配慮を要する園児には担当保育教諭を配置した。

《関係する研修の受講や専門の機関からの指導を得ることでさらなる成果を上げることが必要・前橋保健センターから専門の方に来ていただいた。また、通園している他の施設との話し合いに積極的に協力している》

⑤ 組織運営について

職員への就業規則の周知（常時職員室に配備）

職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）

個人情報取り扱い、守秘義務について周知した。

《時間の制約から十分にできていない部分があるので努力が必要》

⑥ 研修（資質向上の取り組み）について

新採研・保育士等キャリアアップ研修・一社）群馬県私立幼稚園・認定こども園協会主催各種研修への積極的参加

《できる限り研修を受けさせたいが、代替え職員を配置できないので十分とは言えない状況にある。ただし、WEB研修等の利用である程度は補えた。》

⑦ 情報提供について

- ・園のしおり（入園時）
- ・園だより（毎月）
- ・3種類のニュース（基本的に毎月）
ほけんニュース・食育に関するニュース・身の回りのものに興味を持つためのニュース
- ・全日私幼連PTAしんぶん（毎月）
- ・携帯メール連絡網（オクレンジャー）による情報提供

《感染症情報その他紙媒体よりもメールによる情報提供が適しているものをタイムリーに配信している。》

⑧ 保護者・住民との連携

- ・PTAとの連携による行事運営

《PTA役員の方のお蔭で大きな行事が実施できている。貴重な時間を割いて協力していただいている。》

るので、それ以上のものを経験してもらえるように努めているがどうだろうか、と思っている。》

- ・さつまいも栽培による地域連携事業実施

《子ども達にとって、職員・PTA役員・地域の方が手伝っていることで、世の中はみんなが繋がりを
持って成り立っていることを感じられたら、と思う。》

・保護者による読み聞かせ会（ボランティア活動）については、保護者のボランティアが少なかったが
充実した会になっている。

《園児は毎月楽しみにしている。保護者の方もやりがいをもてる活動である。》

⑨ 子育て支援

- ・預かり保育と延長保育

《預かり保育は1号認定子どもが少なくなっているので利用者が少ない・延長保育は1日1人程
度の利用》

- ・親子の集い ミニポケット

《月に2回程行い、毎回5～12組程の親子参加者がある。》

- ・子育て相談

《子育て相談のためのスキルを磨き十分な成果をあげるように努めることが必要》

- ・誰でも通園制度（令和6年度試行的事業）

令和6年度7月から実施（余裕型） 週1回2時間利用が1人

【全体を通しての自己評価】

・今年度も業務量に対して職員の数が足らなかったがチームワークよく保育ができた。とはいえ、保育内
容の検討することが十分にできず

・行事等についての保護者のからの評価は概ね肯定的な内容だったことからうかがえる。また、日頃の保
育についても連絡帳でそれなりの評価がなされている。しかしながら、さらなる改善が必要とはいえ、一
日の業務を十分に行うだけの余裕がないことから職員の増員が必要であるが予算の範囲内で行うしかな
いところが難しい。

・多忙を極める中ではあるが、今後も園内外の物的人的環境を生かして、引き続き教育・保育を行う学校
法人が設置する幼保連携型認定こども園としての本分を見失わず、職員全員が一致団結して向上心を持
って園児のために邁進するように心がけたい。

【施設関係者評価委員会（令和7年2月5日開催）】

※評価委員構成 保護者 4人 他 民生委員・原小校長・幼稚園教諭養成校講師

A 委員から

お泊り保育がコロナ以降なくなった。復活はないか。

園長から

先生の配置が難しい。夏休みがなくなってしまったので代休が取れない。

宿泊はできないが「夜まで保育」で代替をしている。復活は考えていない。

B 委員から

親子旅行の実施復活はないか。

園長から

バス代が高くなっている。一人当たりの料金が高くなってしまう。

実施をしても自家用車で行きたいという人もでてきている。

C 委員から

上の子時は、欠席連絡は電話だったが、QR コードでできるようになって良かった。

おたよりの写真がカラーで送られてくるので良かった。

D 委員から

一斉配信メールで過去のデータが消えてしまうので見られるようにして欲しい。

運動会が戸外でできるとよい。雨の場合は延期にしても園庭でできるとよい。

園長から

オクレンジャーについては検討する。

運動会については平日園庭で2学年ずつ実施も検討している。

E 委員から

職員の数に余裕がない中でもチームワークよく先生方が保育をしているのかよい。

園長ができるだけ労働条件を改善しようとしているところが評価できる。

外部との連携・保護者とのコミュニケーションがよくとれていると思いました。

いろいろな面での努力が必要をいうところが課題ということなので検討して欲しい。

園長から

労働環境が整うことは園の発展につながると思うので課題や弱点を検討していきたいと思う。

※ご意見・要望については来年度以降の教育・保育の参考とし、さらなる園経営の向上に努めたい。